



西村クリニック便り 第69号

発行元
西村クリニック
四條畷市楠公1-14-6
072-862-3001



来月より**インフルエンザの予防接種**が始まります
詳細は追ってお知らせさせていただきます

ある日私がなにげなく「犬を飼うのもいいなあ」とつぶやいた二日後我が家に小さい可愛いオレンジセーブルのボメラニアンの男の子がやって来て三年が経ちました。この物語の「多聞」の様に神がかり的な犬ではありませんが、この子に「多聞」のイメージを若干だぶらせながらこの物語を読んでいき、最後は感動的な最終章を迎えたのであります。

人間の生活の中に犬が入り込む様になって随分久しくなります。江戸時代いよもつと以前の庶民の生活を描いた絵にも犬が飼われているものもあります。そして今や犬はペットとしてだけではなく人間社会においても人間を助けてくれる存在でもあります。盲導犬や災害救助犬がその代表的なものです。最近ではドッグセラピーと言って患者の心の支えとして病院で働いたり、老人ホームで働く犬もいて、人間と犬は切っても切れない仲間になりつつある様です。人間は霊長類の最も進化したものとして地球上に君臨しておりますが、動物の世界にもその人間をも上回る神秘的な感性を持つものもいるのではなからうか。犬を見ていると時にはその様を気分になる事もあります。

さて二〇一一年未曾有の災害をもたらした東日本大震災の時仙台で一匹の雄犬が飼い主の死と共に迷い犬となりました。この犬の名は「多聞」と言うのですが、「多聞」には公園でいつも会って楽しく過ごす幼い少年の親友がおりました。この少年の両親は震災の後仙台での生活を諦め熊本に引越すのですが、何と「多聞」はこの少年に会う為に五年もかけて仙台から熊本まで旅をしていくのであります。熊本までの道中は想像を絶する困難を乗り越えたが、出会った人々の心暖まる助けもあり、五年後遂に「多聞」は熊本で親しかった少年と再会するのであります。そして熊本で「多聞」と少年の生活が始まりますが、その果てに待っていた結果は・・・



オンラインでコンサートを鑑賞してみました。「やっぱり生よね」と思いつつも何点かメリットがあります。自宅でお茶やお菓子召し上がりながらいつもなら行けない未就学児も鑑賞できます。またお気に入りの音響環境で普段は見れない角度からの鑑賞もでき期間限定で何度もコンサートを鑑賞していただけます。例えば8月22日(土)の長瀬剛さんのコンサートは31日(月)まで何度もリピートして鑑賞できるそうです。新しい生活様式として色々な新しい試みにこれからも参加していきたいと思えます。

当院では玄関マットを抗菌吸収剤を塗布したものにしています。ウイルスは床や靴底に付着していることも判明しています。来院時には玄関マットにて靴底をよく拭いてください。また当院では業者での定期的な床清掃に加え職員にて随時消毒も行っております。またトイレを使用後には(トイレの)蓋を閉めてから流すことにもご協力ください。マスク、アルコール消毒、換気等々あらゆる感染予防に努めています。

編集後記

先日琵琶湖を回り院長の卒業した京都大学までドライブして
食事や買い物をしました
GO TO キャンペーンに参加できました(*^▽^*)

野良猫に困ったことはないですか？居ては困る場所に大きな石を置いたり漂白剤を薄めた物を蒔いてみましょう。

来なくなるようです。また猫は綺麗好きで便尿をする場所

に寝泊りすることはないです。現在は動物愛護法に守られ

てる野良猫達は保健所の人に来て網で捕まえて殺処分の流れではありません。TNRと言ってT(トラップ(捕まえる)N(ニューター(避妊去勢する)R(リターン(元の

の場所に戻す)します。手術した印に猫の男の子は右耳、

女の子は左耳を桜の花びらのようにカットし“さくら猫”

として一代の命を全うします。避妊去勢した猫は便尿の臭

いも抑えられ喧嘩も減り大人しくなります。とは言え保護

(捕獲)は難しいです。保護にあたっては担当地区の動物